

第4回 国分寺街道及び国3・4・11号線周辺まちづくり懇談会 《意見のまとめ》

テーマ：国分寺街道沿道のにぎわいの創出

日時：6/17（日）14：00～16：00 場所：カフェといろいろびより 参加者：17名

	A班	B班	C班
1. 国分寺街道にふさわしいにぎわいって何だろう 【にぎわいのイメージ】	<p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商店と消費者がつながる「face to face」の商店街。（インターネットで買い物ができる時代だからこそ顔の見える商店が必要である。） ○学校などからの帰り道に、必要な買い物を済ませられる商店街。 ○個店が並んでおり、その魅力を引き出させる地域。 <p>【地域コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の人、お年寄りが集える場所がある。 ○お年寄り、子育て世代などの世代ごとに集まれる場所がある。 <p>【来訪者の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ここにしかないもの（ここでしかできないもの）」がある。（駅から少し遠い場所なので、色々な人が来てくれると思う。） ○地域の魅力を引き出すことにより、にぎわいを創る。 ○他の地域から来る人々が、またここに来たいと思える場所であること。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の人も、遠くからの来訪者でも、集える場所がある。 	<p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生にも立ち寄りやすい店がある。 ○いろいろな種類のお店がある商店街。 ○商店街の店舗が、もっと密集している（それによって地域に多くの人が集まり、一軒一軒の店舗にも入りやすくなり、結果的に国分寺街道がにぎわう）。 ○みんなが帰りに寄っていける場所として、商店、ベンチ、写真スポットなどがある。 ○このような場所（カフェといろいろびより）がある。 ○バス停の近くにカフェがあり、そこでお話をしたりする「小さなにぎわい」がある。 ○大勢の人が集まるのではなく、ここ（カフェといろいろびより）のように地元の人が集まれるようなにぎわいがある。 <p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歩行空間が広がって歩行環境が改善されている。 	<p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飲食店が増え活気のある道路。 ○住民のみんなが地元に行きつけの店がある。 <p>【地域コミュニティ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「何かやりたい」と思っている人を地元の人が応援している（できる場所がある）。 ○多世代が交流する場所がある。 ○新しく入ってきた人たちと元々いた人たちが楽しめて交流がある。 ○新旧の住人がつながる。 ○アパート、マンションの住人も「まちの人」として参加できる。 ○人が沢山いるだけでなく、しっかりとした地域コミュニティが出来ている。 ○人と人がつながっている（お互いの事を知ることからスタート）。 <p>【来訪者の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間帯によって訪れる人が異なる。 ○国分寺、府中の双方向から人が集まる。 ○お鷹の道周辺でウォーキングをする人、学生、高齢者などが寄り道できる場所がある。 <p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○街路灯がある。 ○夜でも安心して安全に歩ける（今は暗くて歩道も狭くて危ない）。 ○人々が安全に通ることができる。 ○安全な街道。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小さい「こだわり」がまちのいたる所にある。 ○子どもや子連れの家族が和気あいあいとしている。 ○子連れの人々がゆっくり散歩できる。
2. まちの中心になる地域のお宝さがし 【地域資源（あったらいいと思うものも含む）】	<p>【地域の魅力（歴史文化・自然等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○後背地にある歴史資源。 ○お鷹の道。 ○野川に架かる不動橋（古くからあるレンガ造の橋）。 ○一里塚・不動橋からお鷹の道へのルート。 ○一里塚バス停（便利なのでお年寄りが集える魅力あるものを集約）。 <p>【あったらいいと思うもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レンタルスペース（イベントもできる）。 ○公園を中心とした商店街（休憩もできてよい）。 ○東経大の学生がチャレンジできる店舗・スペース。 	<p>【地域の魅力（歴史文化・自然等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不動橋（野川と国分寺街道との交差付近）を中心とした水辺と緑地。 <p>【あったらいいと思うもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○並木道などで落ち着いた雰囲気があるとよい。 ○訪れる人が長く居られる空間。 ○マスコット等の写真スポット。 	<p>【地域の魅力（歴史文化・自然等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○殿ヶ谷戸庭園。 ○ハケの坂道。 ○こくベジ。 <p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生の力を活かせる場所（例：株式会社モーフィングのように地元の大学生が力を発揮できる会社） <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぶんバス（交通網が充実。バリアフリー）。 <p>【あったらいいと思うもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こくベジを使ったスイーツ（和菓子も）。 ○クルミドコーヒー、胡桃堂喫茶店みたいなカフェ（八王子市にあるクレープ屋は高校が近くにあり行列ができています）。 ○美術館、博物館などがあるといい（くるみギャラリーのような）。 ○子どもが遊べるような池・川があるといい。 ○ファミリーが行きたくなるような遊べる場所（公園、スポーツクラブなど）。

	A 班	B 班	C 班
<p>3. 地域のお宝をにぎわいに育てよう</p> <p>【にぎわい創出のための取組のアイデア】</p>	<p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シニア世代が運営するシニア世代のためのイベントを開催する。 ○市、マルシェを定期的（決められた曜日など）に開催する。 <p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生の力を活用した店舗づくりを展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学生主体で運営することによって、学生を呼べる。 ・現役学生の運営は2年間程度しかできないので、長く継続させていくための工夫が必要。 ・地元の応援も必要。 ○国分寺史跡・お鷹の道に通じる門前商店街を形成していく。 ○公共交通を利用されるお年寄りのリピーターを呼ぶために、バス停付近に店舗・利便施設を集積する。 ○食べ歩きのできる店舗がある道（環境）になるとよい。 ○地元産直・名物品のお店を国分寺街道に集結させる。こくベジ販売店を立地させる。 ○駅から近い野川の北側はお年寄りが集まる店舗、野川の南側にはクラフトショップなどを集積させ、個性のある場所にする。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域にどのような店舗が立地しているのかわからないので、地域情報をオープンにし、発信していく。それによって、新規参入しやすくなる。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元住民が駅への往来に利用できる道としていく。 ○歴史散策のルートなどで人を呼ぶためにはトイレを設置する必要がある。 	<p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イベントを行って、リピーターや顔見知りを増やしてコミュニティの輪を広げることでまちがにぎわっていく。 ○イベントが終わったあとも人と人をつながられるようにする。 ○年齢層をしぼったイベントもよい。 ○通りを活用したイベントを企画する。 ○昔の遊びなどのイベントを開催して、地域コミュニティや世代間の交流を深める。 ○国分寺街道の歴史を浸透させるようなイベントがいい。 ○国分寺街道にきた人が楽しめる、地域に住んでいる人も楽しめる通りとしてのイベント。 ○わかりやすいハード面だけでなく、ソフト面としてのイベント。 <p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生が運営しているカフェがあると、学生も立ち寄りやすい（立川で事例あり）。 ○学生が主体となる（カフェの運営など）ことで、学生と地域の方々のコミュニティが形成される。 ○不動橋（国分寺街道と国3・4・11号線の分岐点）のところに商店街やイベントができるような場所があるといい。 ○「こくベジ」を使ったお弁当、直販店が来訪しやすいところにあるとよい。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生向けの情報発信がほしい。 ○国分寺街道にどんな店があるのか、看板、マップ等でわかりやすくする工夫が必要。インターネットで情報発信するのもいい。 ○国分寺街道の認知度が足りない。もっと知ってもらうことが必要。 ○工事用の仮囲いを工夫してまちの声を載せてもいい。地域の人の紹介や今ある国分寺街道の特徴をアピールする。 ○インスタ映えするような写真スポットは、若者だけでなく多世代で利用できるようなテーマでつくる。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野川と国分寺街道が交差する辺りは、緑や水辺に触れることができるようにする。 ○野川の整備を行う際に、例えば、地元の小・中学生に協力してもらってタイル等に絵をかいたものを貼れば、親しみやすい空間ができ、国分寺に初めて訪れた人にもいい。 ○道が重要になってくるので、早く計画が実行されるとよい。 	<p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学生と市民の交流の機会を増やせるイベントを開催する。 ○ハケの坂道を活用する（仮装して歩くおまつり、流しそうめん、自転車滑走大会、スケボー、ボブスレー、飛ぶ鳥人などのイベント。すごく短いケーブルカー）。 ○国分寺市と府中市でつなひき大会を行う（勝つと市境、街道名が変わる）。 ○こくベジのイベントを開催する（パンフレット、ポスターなどでPR。農家さんのこだわりなどを紹介。こくベジを使った料理）。 ○定期的にイベントを開催する（ターゲットを絞ったものを毎月変えて行う）。 <p>【商店・商店街】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時間帯によって違う魅力を出す（朝：モーニング、昼：カフェ、夜：バーのような）。 ○寄り道しやすい店や公園をつくる。 ○街灯や遅くまで開いている店があることで、夜でも歩きやすくする。 ○小さな道の駅のような場所をつくり、こくベジを販売する。 ○空き店舗を活用する。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぶんバス車内で地域のお店を紹介する。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若い人たち・学生（小・中・高・大）の柔軟なアイデアを引き出す。 <ul style="list-style-type: none"> ・こくベジレシピアイデアコンテスト。 ・まちをフィールドとした授業を行い、若いうちから「地域愛」を育てる。地域のことを考えるクセをつける（講師は外部の面白い人。授業内容はお任せ）。 ○国分寺街道で稲作（目につくもの）を行う。 ○地元住民、学生、子どもが遊ぶ場所をつくる（アスレチックができるような広めの公園など）。 ○ツインタワーの住人に国分寺街道に来てみたいと思わせる工夫をする（こいのぼりとか、何か高いものがあると上から見える）。